

ISO/IEC/JIS Plastics

事務局便り 2012年10月

ISO/TC61(プラスチック)/SC9(熱可塑性樹脂材料)分野の最近の動向

1. ISO/TC61/SC9の構成

ISO/TC61/SC9は、熱可塑性プラスチック関係の規格の制定・改正等を担当し、これまで幹事国はアメリカ(ANSI)であったが、経済的サポートの減少から幹事国を辞退したため、昨年より韓国(KATS)が幹事国に就任している。Pメンバー(投票権有)は22カ国、Oメンバー(オブザーバ)は12カ国で昨年と変わらない。WGは、15WGで、表1のような状況である。各WGのコンビナーは、5年前までは欧米が独占していたが、WG21、WG17に続き2010年からWG7のコンビナーにも日本が就任している。

2. ISO/TC61/SC9の活動状況

2011年9月にマレーシア、クアラルンプールで第60回TC61年次国際会議が開催され、SC9の規格の制定・改正審議が行われ、表2のように現在プロジェクトが進行中である。

表2の規格番号の前に◎のあるものは日本からの提案のもので、○があるものは日本の意見を大きく反映しているものである。

表1 ISO/TC61/SC9のWG

WG	コンビナー(団体)	タイトル
WG 6	アメリカ(ANSI)	ポリオレフィン
WG 7	日本(JISC)	スチレン系樹脂
WG 8	オランダ(NEN)	ポリアミド
WG14	ドイツ(DIN)	ポリマーディスパージョン
WG15	ドイツ(DIN)	ポリカーボネート
WG17	日本(JISC)	熱可塑性ポリエステル
WG18	アメリカ(ANSI)	試験片の作成
WG19	空席	ポリメチルメタクリレート
WG20	イタリア(UNI)	ポリ塩化ビニル
WG21	日本(JISC)	ポリオキシメチレン
WG22	アメリカ(ANSI)	ポリテトラフルオロエチレン樹脂及び製品
WG23	ドイツ(DIN)	ポリビニルアルコール系ポリマー及びコポリマー
WG24	オランダ(NEN)	ポリフェニレンエーテル
WG25	空席	ポリケトン
WG26	オランダ(NEN)	熱可塑性エラストマー

表2 ISO/TC61/SC9のプロジェクトリスト

WG	規格番号	タイトル(要約)
6	ISO/DIS 17855-1	ポリエチレン(PE)成形用及び押出用材料 第1部:呼び方のシステム及び仕様表記の基礎
7	◎ ISO/FDIS 2561	ガスクロマトグラフ法によるポリスチレン中の残留スチレンモノマーの求め方
8	○ ISO 307:2007/DAmD 1	ポリアミド-粘度測定
8	ISO 1110:1995	ポリアミド(PA)-試験片の促進状態調節
8	○ ISO/FDIS 1874-2	ポリアミド(PA)成形用及び押出用材料-第2部:試験片の作り方及び諸性質の求め方
8	○ ISO/DIS 16396-1	ポリアミド(PA)成形用及び押出用材料-第1部:呼び方のシステム(及び仕様表記の基礎)
14	ISO/DIS 12000	ポリマーディスパージョン及びゴムラテックス(天然及び合成)-試験方法の定義と検討
17	◎ ISO/FDIS 7792-1	熱可塑性ポリエステル(TP)成形用及び押出用材料第1部:呼び方のシステム及び仕様-表記の基礎
17	◎ ISO/FDIS 7792-2	熱可塑性ポリエステル(TP)成形用及び押出用材料第2部:試験片の作り方及び諸性質の求め方
17	◎ ISO 12418-1	ポリエチレンテレフタレート(PET)ボトル再生材料-呼び方のシステム及び仕様表記の基礎
17	◎ ISO 12418-2	ポリエチレンテレフタレート(PET)ボトル再生材料-試験片の作製及び特性の求め方
26	○ ISO/FDIS 14910-1	成形及び押出用の熱可塑性 TPE-U-第1部:呼び方のシステム及び仕様表記の基礎
26	○ ISO/FDIS 14910-2	成形及び押出用の熱可塑性 TPE-U-第2部:試験片の作成及び特性の測定
26	ISO/CD 16365-1	熱可塑性ポリ/ポリウレタン(TPU)-第1部:呼び方のシステム及び仕様表記の基礎

26	ISO/CD 16365-2	熱可塑性ポリ/ポリウレタン(TPU)―第 2 部: 試験片の作製及び特性の求め方
26	ISO/CD 16365-3	熱可塑性ポリ/ポリウレタン(TPU)―第 3 部:エーテル, エステル, 混合 TPU の分析

なお、経済産業省の受託事業として取り組んできた PET ボトルリサイクルの 2 規格は発行を待つ段階に来ており、また PP/PE 再生混合品の標準化事業は本年新たに、「呼び方のシステム及び仕様表記の基礎」及び「試験片の作り方及び性質の求め方」の 2 件について新規提案を行い、ほぼ新規作業項目に登録される目途を得ている。

また、昨年度から新たに発行された規格は、ISO 294-5(Ed2)「プラスチック―熱可塑性材料試験片の射出成形―第 5 部: 異方性を調査するための標準試料の調整」及び ISO 1622-1(Ed 3)「プラスチック―ポリスチレン(PS)成形用及び押出用材料―第 1 部: 呼び方のシステム及び仕様表記の基礎」の 2 規格である。

以上